

地域密着型サービス評価結果報告書

法人名	有限会社ライフサポート
代表者名	代表取締役 松井 寛
事業所名	まるおかデイホーム
評価確定日	令和4年11月14日

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社ライフサポート	代表者	松井 寛	法人・事業所の 特徴	当事業所は丸岡城の北東に位置し、近隣には小学校、その周りに住宅街が広がっている。木造の建物で、1階には通所介護と当事業所、2階にはグループホームと棟続きとなっており、日常的に事業所間の交流が行われている。送迎時には家族や近所の人からたくさんのお花や野菜をいただくなど、地域や馴染み人たちとのつながりを維持している。
事業所名	まるおかデイホーム	管理者	豊本 定麗		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	1人	1人	1人	2人	3人	0人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	介護職員、ケアマネ、看護師が利用者の日々から夜間の状況、また基本情報を把握し皆で情報共有の強化を行う。	利用者の日中、夜間の状況について多職種間での情報共有に努めたが、情報共有の漏れも散見された。	利用者の情報を多職種間で共有することに加えて、各スタッフが利用者それぞれのケアプランも把握する必要がある。	利用者の情報を多職種のスタッフそれぞれが共有することに加えて、ケアプランについても把握するように努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	コロナ禍が収束した時には地域の方々が無難に施設に寄れるような雰囲気、環境整備に配慮していきたい。	コロナ禍の収束には至らなかった為、地域の方々が無難に事業所に寄る状況とはならず、利用者の環境改善に努めた。	事業者内では利用者が過ごしやすそうにしているが、コロナ禍で地域の方々との交流がないは仕方がない。	引き続き利用者が過ごしやすいうような環境整備に努め、コロナ禍の収束後は地域の方々との交流も図っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍なので、地域の方々との関わり工夫、強化を図り事業所の情報発信していく。	コロナ禍の収束には至らなかった為、事業所と地域の間は限定的であり、地域の寄り合いや話し合いやイベントには代表が参加した。	地域住民に対する職員の対応は良かった。コロナ禍の為、地域との関わりが限定的になったのは仕方がないと思われる。	コロナ禍収束後は事業所と地域の方々との関わりを増やしていき、情報発信も定期的に行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ禍により制限や自粛不自由があったが、その時に応じ適切な判断で支援できるように努力する。	コロナ禍の収束には至らなかった為、地域に出向く事も限定的であったが、民生委員や区長との関係構築に努めた。	コロナ禍の為、地域に出向く事が限定的であったのは仕方がないと思われる。	コロナ禍の収束後は地域に出向いての利用者の暮らしを改善する取組みを増やしていくように努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の方々、利用者、ご家族の声、意見をもっとも取り入れて運営推進会議でいかす事ができるように思う。	コロナ禍の収束には至らなかった為、運営推進会議の開催は行われず、定期定期的な資料配布のみを行った。	コロナ禍の為、運営推進会議開催ができなかったのは仕方がないと思われる。不明な点は随時説明を受けることが出来た。	コロナ禍の収束後は運営推進会議を再開して、地域の方々、利用者、ご家族の声をより活用していくように努める。
F. 事業所の防災・災害対策	防災訓練開催時には前もって地域の皆さん家族に参加を促して防災に対する意識を高めていくように努力する。	コロナ禍の収束には至らなかった為、防災訓練も限定的となり、地域の皆さん家族との関わりも殆どなかった。	コロナ禍のため、防災訓練に対して地域の住民の関わりが殆どなかった事も仕方がないと思われる。	コロナ禍の収束後は、防災訓練に対して地域の住民との関わりをより多く持つように努めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月7日（15：00～16：00）

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	8人	5人	0人	13人

前回の改善計画
新規利用者の担当者会議に担当者が参加できるようにする。 申し送りノート等、分かりやすい記入、対応等指示を記入し次に繋がるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
申し送りノート等、分かりやすく、指示等も詳しく書き。少しは把握できるようになってきた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	7	2	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	4	8	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	7	3	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	9	2	0	13

できている点
情報をしっかりと把握し目を通して 新規利用者についてはコミュニケーションを図るようにし気を遣っている。本人や家族との信頼を築くためにできる事とできにくい事を説明し伝えている。本人家族に希望を担会の時に引き出すようにしている。自分なりに努力してきたと思う 新規のたびに朝礼やお互いの声掛けで情報共有している。環境に慣れておられない方は笑顔で接する事と している。

できていない点
担当者会議に担当職員が参加するようになったが適した情報を現場に落とす事がケアマネのみになっている。担当役割きちんと決まっていない。現場の職員が何を聞いて欲しいか把握できていない。コミュニケーション不足。家族に不安などにも配慮できていなかった。業務が多忙。新規の方にニーズなど発見できていない。自分に評価を低くしてしまう。性格的に遠慮がちの為他人に譲ってしまう 業務前に情報収集できない時がある。時間がない 家族との会話に機会がない。読んで理解できない事もある。性格的に初めての方は関わるのが苦手。質問 するタイミングが難しい。時間確保が難しい。

次回までの具体的な改善計画
新規利用者の担当者会議は、担当職員が参加できるようにする。担当は何をするのかマニュアル作成をして利用者の情報を収集し職員に発信する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月12日(14:00~15:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	5人	0人	13人

前回の改善計画
アセスメント、カンファレンス、プランの理解、共有をしっかりと確認する。 常にスタッフとコミュニケーションがとれる、とりやすいようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
申し送りノート等の確認は殆ど全員できているが、プラン等については、確認するスタッフ、確認しないスタッフがいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	3	8	2	0	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	7	2	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	7	2	1	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	5	4	1	13

できている点
申し送りノートを確認するようにしている。本人に行動から想像している。関わって感じた事を職員に話。継続するかどうかを考えている。受け持ちの利用者については理解している。観察し思った事、客観的記録するように努めた。ミーティングで発言や振り返りをしている。本人の目標やご自身の生活歴関わったかたの話を聞いて本人の会話の中から何がしたいのか何が必要か常に考えている。評価を行いながら目標理解の把握をしている。プランが切れる前にミーティングや担当職員へ聞き把握している。

できていない点
事業所ミーティング参加出来なく申し送りノートも確認不足である。ケアプラン等に読み込むができていない。時間がない。考えが及ばない。十分な関わりができていない。接する時間がない目先の体調の観察や身体介護で余裕がなかった。コロナ禍の為ミーティングができていない。業務優先でプランに目を通してない。他職員が見ていると確認できない時がある。他の業務があり関わりを持ってない時がある。現場にプランの説明を具体的にしていない。説明する時間がない。自分の思いを口にできない方は汲み取りが難しい。コミュニケーション不足。

次回までの具体的な改善計画
各利用者担当が、利用者のニーズの把握の為に個別のノートを作成する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月14日(14:30~15:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	3人	2人	13人

前回の改善計画	業務担当(排泄、入浴、食事)しっかりと把握しミーティング等で発信していく。利用者についての知り得た情報はきちんと記録する。
前回の改善計画に対する取組み結果	業務担当が活かされていない。情報共有する事は何とかできている。民生委員、区長、近所の方など本人を支えている方へ挨拶をするようにしている。そこから色々な情報を得られるようにできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3	7	3	0	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	3	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	6	4	0	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	8	3	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	7	4	0	13

できている点	排泄、入浴介助は気がついた点利用者変化等声掛けや記録を残すよう努めています。パソコン入力が苦手な為他職員にお願いしています。本人に合わせた食事、入浴、排泄をおこなっている。担当、ケアマネと相談して適切なケアができている。利用者について気が付いた事はケースに残している。記録が出来ない時はケースに残ようにしている。できない時はメモに残している。食事や飲み込み等に気を使っている。変化があった時に即時対応できている。
--------	--

できていない点	利用者の方以前の暮らし方について10個以上の把握はできていない。情報の読み込みができない。家族とのコミュニケーション不足。個人で利用の現状について沢山情報を持っているが言語化できない。把握に努めきれていない。後でと思い忘れる時がある。その先失敗や気付きについて人任せになる時がある。利用者の理解ができていなかった。申し送りノートだけでしっかり把握できていない。家族の関わりが少ない。利用者の変化について家族と情報共有ができていなかった。勉強不足。利用者気持ちや理解が不十分。会話する時間がない。細かい変化などを記録に残せていない時がある。どこまで記録を書くのかを線引きできていない。体調変化に対応し、その対応に戸惑う時があった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	各業務担当(排泄、入浴、食事)を把握し、ミーティングで発信し利用者の状況に合わせて行く。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月18日(14:00~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	4人	0人	13人

前回の改善計画
利用者の住んでいる地域を担当する民生委員、区長をきちんと把握する事。 利用者の住んでる地域の会合、行事等に参加して情報収集する事。
前回の改善計画に対する取組み結果
新規利用者については民生委員へ挨拶に行く事ができている。コロナ禍の為、地域行事の中止が多く参加できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	3	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	3	0	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	6	5	0	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	7	4	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
民生委員、区長、近所の方など本人を支えている方へ挨拶をするようにしている。そこから色々な情報を得られるようにできている。 訪問時や送迎時に、町内の環境変化を注意して観察するようにしている。地域の方が利用者と接しておられる時には積極的に話して交流、関わりを持てるようにしている。	

できていない点
利用者の地域での社会支援は良く把握できてない。地域行事がコロナ禍の為に参加できなかった。民生委員との関わりが少なかった。利用者家族との話し合い不足で情報からは理解しているが、細かい部分まで理解できていない。個人のプライベートまでどこまで踏み込んで良いのか境界線があると思う。時間に余裕がなく」訪問など周囲の様子に気を向けてもらえない。地域の情報を知らない。本人がサービス外の時何をしているのか把握できていない。

次回までの具体的な改善計画
新規利用者は民生委員へあいさつに行く。地域の方たちとコミュニケーション等とれるよう関わりを持つようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年11月21日(14:00~15:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	9人	3人	1人	13人

前回の改善計画	スタッフが地域に出向いていく機会を考える。 行事、イベント等企画参加。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍の影響があり、地域の活動の中止が多く活用が出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	3	1	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	6	4	0	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	7	3	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	6	3	2	13

できている点	日々の関わりや記録から本人の変化に気が付く事ができる。利用者の状態をしっかり聞きそれに合わせて支援ができるように心がけています。申し送り時に利用者の変化について話をしてケースに残している。体調や天候で利用者には不安がないか聞くようにしている。
--------	---

できていない点	利用者の少しの変化をケースに残す事が出来ない。業務に追われている自分がささいな変化を発見する事が少なく他職員の発言で気付かされる事が多い。しっかり本人を見る着眼点が足りていない。事業所外での関わりが少ない。地域資源の情報不足。コロナの影響が続いている。利用者のコミュニケーション不足。本人の状態の合わせて柔軟な支援をするように努めるが、行き届かない所があるように感じる。本人に気持ちを読み取る事が難しい。看護での話合いができていない。集まる時間がない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	地域の資源がどれだけあるか、職員が興味を持って調べる。 月のミーティングや朝礼時に利用者の少しの変化について話し合をし、ケースに残すようにし全職員で共有する。看護の申し送りノートを作成し、職員全員で共有できるようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月24日(15:00~16:00)

6. 連携・協働

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	6人	0人	0人

前回の改善計画
 ・できる限り地域の行事に参加し顔を覚えてもらうようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・コロナ禍の為、地域の行事に参加が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	6	4	1	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	5	5	1	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	2	8	1	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	12	1	13

できている点
 担会への参加は担当が参加するように行っている。コロナ禍でもできる事を考えて行事を行っている。ケアマネと一緒に担会に参加し、介護職の視点で情報を確認させてもらった。感染予防を十分行っている。緊急時の対応は情報収集し対応ができている。会議は参加していないが情退院カンファレンスには参加できていた。本人の使用している福祉用具には関心がある。

できていない点
 自治会等の会議や地域の各種機関団体の活動やイベント参加は出来ていない。ケアマネ管理者リーダーに任せてある。自治会、町内会婦人会消防団体等の活動には参加できなかった。活動が把握していない為。コロナや天候が原因で地域の方に来てもらえない。勤務の都合上参加できない。子供や地域の方が来るようなことがほとんどない。

次回までの具体的な改善計画
 コロナ禍でも地域の会議、企画、イベント等参加出来るようしていき、地域の情報収集をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月26日(15:00~16:00)

7. 運営

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	8人	3人	0人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・地域の方たちと関わりを少しでも持てるよう検討する。・運営推進会議等、スタッフが順番に参加してもらい関わりを持てるように検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の為、運営推進会議も開催していない為、参加できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	6	4	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	3	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	4	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	7	2	13

できている点
事業所ミーティングで発言し、利用者の事だけでなくより良い環境作りに向けた話し合いができている。利用者を第1に考えて意見を言っている。家族や介護者の意見や苦情については前向きに受け止めようと考えている。他域の発言も意見として受け止めるようにしている。課題が出るとみんなで考え対応できていた。事業所事や仕事で思った事は口に出して発言できるようにしている。

できていない点
積極的に地域と協働した取組みが行なえていない。地域の集まる会議や活動に参加していない。若手の意見を尊重している。参加職員みんなの意見を聞けていない。意見を言い過ぎてしまう。家庭の事情でミーティングに参加できていない。自分の意見に自身が持ててない為。

次回までの具体的な改善計画
運営推進会議の報告書を確認する。交代で職員も参加し意見を聞き地域と連携を図って行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月28日(14:30~15:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	4人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 研修へ参加しアウトプットする機会を設け実施していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で研修の制限。 ZOOMでの研修参加を促している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	4	3	4	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	6	1	13
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	0	11	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	0	3	10	13

できている点	一部の職員はリモート研修に参加できている。会議の場での報告等で共有している。会議等で研修の報告している。
--------	--

できていない点	受けた研修を調べたりしていなかった。家族の事があり参加できていなかった。時間心に余裕がなく調べる事が出来なかった。自分の向上心が足りなかった。指示された研修のみ参加した。情報収集する時間がない。シフトをこなす事を優先し、シフト以外では体を休めたい為参加できていない。コロナ禍の為研修に参加していない。上司や正規職員に任せきりであった。研修の情報収集が出来ていなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	ヒヤリハットの報告書を挙げ未然に事故を防げるようにする。研修に積極的に参加し自分自身のスキルアップを目指して行く。コロナ対応をしっかりとできるだけ研修に参加していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月29日(14:30~15:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 13名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	4人	1人	13人

前回の改善計画	身体拘束・虐待防止は現在、無いものの、予防、防止の為に委員会メンバーが定期的にスタッフに聞き取り(ストレスケア)、アンケートを実施等 行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	申し送り、会議、また業務中にスタッフ間での声掛け。環境づくり。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	0	0	0	13
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13
③	プライバシーが守られている	3	4	4	2	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	0	2	11	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	9	2	0	13

できている点	意識して丁寧な言葉かけをしている。プライバシー、虐待は心かけている。勉強会には参加できていないが言葉使いや思いやりは常に心かけている。虐待はしていない。個人情報は漏らす事はない。スピーチロックしないように心かけている。排泄、入浴に関わらず本人が恥ずかしいと感じるケアをしないように心掛けている。
--------	---

できていない点	言葉使いが友達のような使い方をしている時があった。自分の意見に自身がないから発言できない。成年後見制度の理解ができていない。伝えたくても職員の個性が強く伝えられない。プライバシーの配慮が足りていない。排泄時や入浴時カーテンが開いている時がある。自分だったら どうなのか?考える。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	継続して身体拘束、虐待の勉強会を実施する。それに繋がる言葉使いを含めて振り返り、思いを持って対応、言葉かけを行うように意識しミーティングでも発信していく。
---------------	---